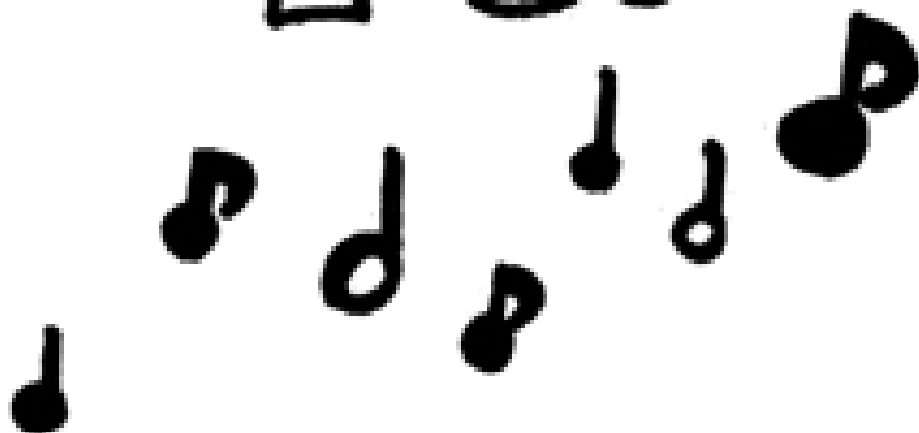


とよ・たち



美肌通信

12月号



ついこの前まで暑い暑いと騒いでいたのに、秋は駆け足であつたという間に過ぎ去り、もう12月に突入してしまいました。当クリニックでも11月に入つた頃から明らかに患者様の皮膚が乾燥してきた事を実感しております。これから増々本格的な冬の到来により、屋内では暖房が焚かれ湿度が下がり皮膚は加速的に乾燥して行くことでしょう。そこで今日の私のテーマは赤ちゃん(小児の)スキンケアにしました。では早速…。

皆様は「スキンケア」という言葉を耳にしたことがあるかと存じます。さて具体的に「スキンケア」とはどの様なことを指すかおわかりですか？

答えは(教科書的には)「清潔」と「保湿」です。しかし私はおえて「適度な清潔」と「十分な保湿」と言わせて頂きたいと思つています。では先ずその理由から話していきましよう。例えば「赤ちゃんの顔や体の湿疹(乳児乾燥性湿疹){冬を代表する2才以下の湿疹です}」には、かなり特徴的な症状があります。先ず赤ちゃんの顔を見て下さい。

先ず彼等の頬が「マシマロの如く何とも触れ
てみたい素晴らしい皮膚」とはいえない事に気
づかされます。しかしどんなに頬に湿疹があつて
も鼻先・鼻唇溝（鼻の横から口の横にかけての線）
下くちいるとアゴの間の凹みには期待された
正常な皮膚が存在していることに気がされます。
さて、そこで尋ねたいのが、朝赤ちゃんの顔を
洗っていますか？（もし洗うという行為が我が子
かわいさあまりに困難なら軟らかい^{水をたっぷり含ませた}タオルで拭い
ていますか？）答えはNOです。

皆様は赤ちゃんの皮膚が大人よりテリケートである
という事は10人中10人が知覚していることです。
では一体赤ちゃんの顔はいつ洗われているのかと
言うて、答えは「入浴時に1回洗う」です。

ではお母さんは朝顔を洗わないのですか？
いいえ当然洗います。しかも洗顔後は直ちに
化粧水^① → 乳液^② → 美容液...云々...

スキンケア思い、きりやってるじゃあ～りませんか！
特に①、② !!

分っているのに我が子にはしない？(矛盾)
赤ちゃんは、母乳(ミルク)、離乳食(たべこぼし)
に始まり、よだれに至っては日中のみならず
夜ねあっても。それなのに、朝の洗顔
(拭く行為)はしていないのです。

1990年代半ばからこの傾向は年々増え
ているという Data があります。

是非今日から朝も赤ちゃんの顔を洗って下
さい。もしくは、十分水を含ませたタオルで拭
いて下さい。

さて次に先程申し上げた乳児乾燥性湿疹
の顔の症状を思い出して下さい。何故、額・頬・
アゴの真ん中に湿疹を認め、鼻唇溝と下唇との
の間には湿疹が無いのでしょうか？(しかも、食べ
こぼしやよだれは鼻唇溝にさえ付着している
にもかかわらず)。これにはお母さんが縦
グッコをした時の事を思い出して欲しいのです。
赤ちゃんがお母さんの胸に左右に首を振り顔を

ゴシゴシと擦り付けている事がありますか？
その時に一番よく擦られる場所こそが
まさに湿疹好発部位なのです。

赤ちゃんが、一日一回しか顔を洗ってもらえな
ければ顔が痒くなるのは当然では有りて
はようか？

ここで賢明なお母さんは「待って!!」縦で
タオルで擦られている場所なのに湿疹が出来
ない場所! おるわよ!! さあ—。それはどこで
しよう。よく思い出して下さい。答えは鼻の頭
です。乳児乾燥性湿疹にみられる
顔の症状も、アトピー性皮膚炎にみられる顔の
症状も、いずれも顔にどんなひどい症状があつ
ても、とりわけ鼻の頭には症状がなく正常皮に
近い状態なのです。それは何故でしょう。

ここにこそ、「スキンケア」の2つ目の「保湿」の答え
がかくされているのです。

実は鼻の頭は皮脂が元々多く分泌する

所であり、それがある事で十分に保湿されているのです。夏に鼻の“テカリ”を抑えようとファンデーションを重ね塗りしませんか？
答えはそれです。だから、最も顔の中で突出している子にキカかわらず、十分な皮脂によって保湿されているため、鼻には湿疹が起きないのです。(保湿の重要性が分って頂けましたか?)
それと、もう一つ冬場の湿疹が起きにくい場所が 肌の中心です。「そー!!」もうおわかりですねー!! 適度に湿っているからです。

さあー。これでいかに冬の乾燥を防ぐためには「スキンケア」が重要か おわかり頂けたかと存じます。「スキンケア」には適度な清潔と十分な保湿です。この事は老若男女問わず誰にでも言える事です。この冬は 1に清潔 2に保湿、3.4が無くて 5にスキンケアです。皆様かんばって下さい。

院長 刀川 栞